



金子 保利 議員
質問方式 一問一答

隅切り条例の制定について

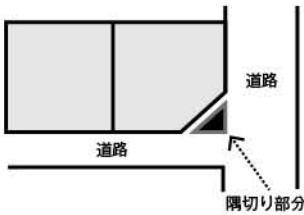
Q 全国の多くの自治体が狭あい道路拡幅整備や角地における隅切り用地の確保及び整備について条例や要綱を策定し、未整備地域の住環境の整備と災害時における安全確保を重要課題として位置づけ、住民の生活環境の改善に取り組んでいるが、本市の取り組み状況は。

A 都市建設部長

狭あい道路拡幅整備については、地域の要望に応じて整備を行っています。住環境の整備と安全確保に資するよう、今後も引き続き努力をしていきます。

角地における隅切りについては、今後もし事業を行う場合は、任意性があり、撤去費用等必要経費の補助を行う程度の緩やかな制度が望ましいと考えています。いずれにしても、先進地の事例を精査し、狭あい道路のさらなる利便性の向上に資する隅切りについて研究していきます。

その他の質問
☆私道整備補助制度の創設について
☆やわらかい区画整理事業(地籍整備型土地区画整理事業)について



飯田 昌弘 議員(蒼生会)
質問方式 一問一答

医療費削減に向けた取り組みについて

Q 佐野市の糖尿病患者数、糖尿病予備群の患者数、健康診断の受診率を伺いたい。また、糖尿病予備群や糖尿病患者に直接働きかけることが合併症の予防、医療費の削減につながると考えるが、具体的にどのような施策をして、予算はどのように考えているのか。

A 健康医療部長

佐野市の糖尿病有病者数は約9,900人、予備群は約9,800人と推計されます。28年度の特健康診査の受診率は21.6%ですが、県の平均は約30%ですので受診率は低い状況です。

国民健康保険において、30年度の新規事業として糖尿病重症化予防事業を検討しています。この事業は、レセプトデータから放置しておく人工透析に移行する可能性の高い被保険者を抽出して、同意のあった被保険者に対し重症化予防の取り組みを保健師、かかりつけ医、専門医と連携を図りながら行う事業です。委託方式による実施で、事業費は約700万円を見込んでいます。

その他の質問
☆少子化解消と女性活躍社会を目指す取り組みについて
☆安全安心なまちづくりとしての幹線道路の県への要望活動について



小倉 健一 議員
質問方式 一問一答

市内小中学校の校庭管理について

Q 現在各学校では、剪定が行われていない手の届かない樹木、老木もふえていく現況がある。新規事業として、全学校を対象に専門の樹木医や樹木剪定業者を入れ樹木調査を行い、処置の必要性の高いものを特定し、剪定、伐採を行うといった取り組みはできないか。最悪の事態にならないよう日常の注視の目とともに検討をお願いしたい。

A 教育総務部長

今後校舎等の施設の老朽化に対する対応を実施していかなければならない状況にありますので、樹木に対する新規事業については現在のところ予定していません。安全安心を第一義に考え、状況に応じて小中学校維持管理事業の中で対応していきたいと考えています。

その他の質問
☆佐野市営バスについて



▲ 出流原小学校の倒木撤去作業の様子